

令和5年度 都田中学校 学校評価

I、令和5年度の取組

目指す生徒	目指す学校
「都田中が好き・誇り」 「自立」 力強く自らの未来を拓く生徒 「共生」 共感・尊重・協働の中で高め合う生徒	<ul style="list-style-type: none"> 命を尊重し、安心して学べる学校 「もの・こと・いのち」とかかわり合う中で生きる力を育む学校 保護者、地域と共に歩む開かれた学校
2023年度 都田中学校の重点項目	
①いのちと心を大切にする ②力がつく楽しい授業、教育の情報化 ③生徒が活躍する行事、部活動 ④キャリア教育の推進 ～基礎的・汎用的能力の育成～ ⑤働き方改革の推進(魅力ある教職員) ⑥発達支援教育を土台とした教育課程 ⑦コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の充実、地域・PTAとの連携	

II、自己評価

	生徒の 評価	保護者の 評価
①自分には良いところがある	88.8%	87.6%
②自分はクラスの人の役に立っている	75.7%	90.8%
③友達や先生など、周囲の人とうまく関わっている	90.7%	90.8%
④周りの人に思いやりのある言葉を使い、思いやりのある態度で接している	93.3%	98.2%
⑤達成したい目標やかなえたい希望・夢がある	85.0%	72.0%
⑥毎朝、朝食を食べてから登校する	93.2%	91.7%
⑦家族や地域の方、友達や先生に気持ちの良いあいさつをしている	92.0%	83.5%
⑧家庭学習をしっかりと行っている	80.2%	61.0%
⑨学校は便りやHP等を通じて、活動の様子や情報等を発信している	85.7%	96.2%
⑩情報講座、授業、ノーメディアチャレンジ等で、情報・モラルに関する意識が高まっている	91.0%	84.4%
⑪自他の命が大切だと考えて、交通ルール・マナーを守り、事故・けがに気をつけている	95.1%	95.9%
⑫先生は授業で、よくわかる教え方をしている	91.1%	86.7%
⑬先生は授業で、「知りたい」「やってみよう」など好きになる教え方をしていると感じている	84.8%	79.4%
⑭先生は、頑張っていることをほめてくれたり、困ったときに助けてくれたりする	91.1%	85.8%
⑮先生に悩みや問題を相談しやすい	70.6%	85.8%
⑯都田中は、生徒が主役である	85.7%	82.1%
⑰自分の学級は安心できる場所である	89.8%	87.6%
⑱行事(天白祭)や生徒会活動、委員会や係活動に力を入れ、学校生活が充実している	92.9%	86.2%

※ は、前年度より、ポイントが上昇した項目

〈職員の評価〉

III、学校運営協議会による学校関係者評価

<p>素直で、他者に対して思いやり、優しさのある生徒が多い。また、授業、部活動、学校行事にも一生懸命取り組む。反面、主体的、能動的に活動することが苦手で、あいさつや家庭学習の習慣も定着していない。自立に向けて学力の定着は課題である。さらに、集団生活の適応が難しい生徒や、他者と関わりあう力や自尊感情が低い生徒も一定数あり、発達支援教育を土台とした教育実践の充実が必要である。悩みや問題を教員に相談する生徒が増え、いじめ問題の早期発見につながった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 登校時間の変更や成績二期生の導入など、中学校が生徒のためになることを積極的に取り入れる姿勢が素晴らしい。 今年度、都田中教職員と話し合いができたことは、とても有意義だった。話し合いで見つかった課題について、来年度は解決するための策を考えていきたい。 坂が多い通学路なので、自転車事故を防ぐために、今後も自転車講習会、登下校の見守りなど、協力して進めていきたい。 職員が生徒との信頼関係を築くことが、いじめ問題の早期発見につながっていることは、とてもよい。 生徒数減少は、深刻な問題と考える。部活動や学校行事など、地域との連携をさらに深め、生徒が意欲的に取り組める学校づくりを考える必要がある。
---	--

IV、今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none"> 生徒理解、生徒に寄り添う教育相談(学習相談含め)の実施 三者面談の充実。日常の声掛けを大切にする。定期的なアンケートの実施。情報共有の徹底。 自転車事故の撲滅 安全指導。定期的な自転車点検。マナー指導。 総合的な学習の時間を生徒の主体性と学ぶ力が育つ場に 生徒の主体的な探究活動を3年間でスパイラルに 地域人材の活用 地域で学ぶ、地域から学ぶ。 生徒が活躍する行事、部活動を通して育てる 社会性(あいさつ)・協働・粘り強さ・人間関係
--